

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-52085

(43) 公開日 平成8年(1996)2月27日

(51) Int. Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 7 K 5/05

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-212046

(22) 出願日 平成6年(1994)8月12日

(71) 出願人 594128957

西井上 和雄

大阪府茨木市藤の里1丁目8-1012

(72) 発明者 西井上 和雄

大阪府茨木市藤の里1丁目8-1012

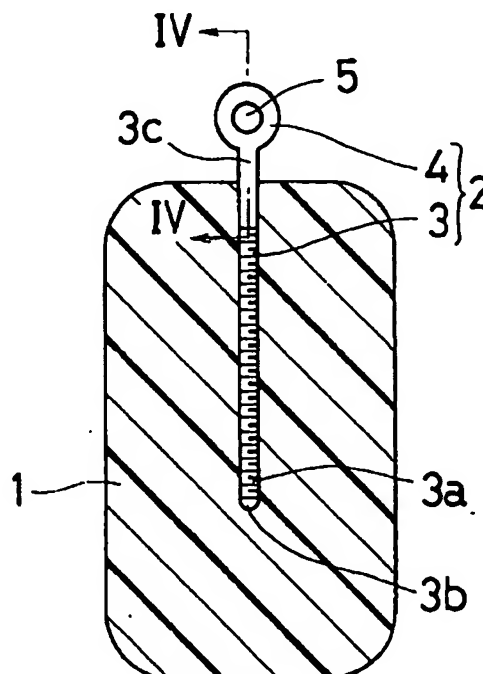
(74) 代理人 弁理士 西教 圭一郎 (外2名)

(54) 【発明の名称】 石けんの吊下げ具

(57) 【要約】

【目的】 既存の家庭用の化粧用、洗浄用または薬用などの石けん本体が水分によってゲル化してふやけてしまうことを防ぎ、石けん本来の目的を長期間にわたって達成することができる石けんの吊下げ具を提供する。

【構成】 石けん本体に、吊下げ具の軸部をねじによって押し込んで係止して固定し、この軸部には、吊下げ部が形成されており、したがって石けん本体の使用後に、その吊下げ部を固定位置に吊下げることによって、水などの液体が滴下し、石けん本体の乾燥が早まる。したがって石けんがゲル化することがなく、長期間にわたって洗浄作用と発泡作用を達成し、また使用期間を長くすることができる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 外表面にねじが形成され、固形石けん本体に埋設される軸部と、

石けん本体の外方で、軸部の端部に連なり、固定位置に吊下げられるための吊下げ部とを含むことを特徴とする石けんの吊下げ具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、石けんの吊下げ具に関する。

【0002】

【従来の技術】石けんは一般には、高級脂肪酸の塩の総称であり、これに類似した性質の脂肪酸、ナフテン酸などの塩も含めて本発明では、石けんという。石けんは、アルカリ石けんと金属石けんと雑種石けんとがあり、家庭用として化粧用および洗浄用など、および薬用などに用いられるソーダ石けんがあり、また家庭用石けんおよび薬用石けんなどとして用いられるカリ石けんなどがあり、本発明は、そのような石けん本体に関連して実施することができる。

【0003】たとえば化粧用などの固形石けんは、使用後に、くぼんだ収納部を有する受け皿に載置され、または石けん箱に収納される。このような石けんは、水溶性であり、そのため使用時の水が付着したままとなり、また受け皿および収納容器などに水が存在することによって、不使用時に、その石けんがゲル状となっていわばふやけてしまう。そのため、石けんの洗浄作用が劣り、また発泡作用が低下してしまい、また石けんの損耗が早い。一般的に広く用いられている家庭用の化粧用石けんは、使用終了後に水分を拭拭して保存すれば、たとえば約2ヵ月程度の長期間にわたって使用することができるにもかかわらず、上述のような水によって石けんがふやけてしまうことによって、たとえば2～3週間程度で、その石けんが消費つくされてしまう結果になる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、使用時の水などの液体によって石けんがゲル状になってしまふことを防ぎ、これによって石けんの洗浄作用と発泡作用とを充分に発揮させるとともに、長期間にわたって使用することができるようにした石けんの吊下げ具を提供することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、外表面にねじが形成され、固形石けん本体に埋設される軸部と、石けん本体の外方で、軸部の端部に連なり、固定位置に吊下げられるための吊下げ部とを含むことを特徴とする石けんの吊下げ具である。

【0006】

【作用】本発明に従えば、既存のたとえば市販されている家庭用の化粧用、洗浄用または薬用、その他の用途に

2

用いられる石けん本体には、吊下げ具の軸部がそのねじによって押し込まれて固定され、この軸部には吊下げ部が連なっており、したがって石けん本体の使用後に、この吊下げ部を固定位置に吊下げることによって、使用時に付着した水などの液体が石けん本体から滴下する。これによって石けん本体がゲル化してふやけてしまうことが防がれる。そのため石けん本体の洗浄作用と発泡作用とを充分に発揮させることができるとともに、損耗の程度を抑制し、長期間にわたって石けん本体を用いることができるようになる。

【0007】

【実施例】図1は、本発明の一実施例の吊下げ具2の正面図である。石けん本体1は、大略的に直方体状または短円柱状であって、固形であり、たとえば家庭用の化粧用、洗浄用および薬用などとして広範囲に用いることができる。この石けん本体1は、使用後に固定位置に吊下げるために、本発明に従う吊下げ具2が用いられる。吊下げ具2は、一直線状の軸部3と、吊下げ部4とを有する。吊下げ具2は、熱可塑性合成樹脂材料、たとえば塩化ビニルまたはシリコンゴムなどの合成のまたは弾力性のあるまたは可撓性の材料から成ってもよいけれども、その他の材料、たとえば木、竹、金属、セラミックスなどから成ってもよい。特に、合成樹脂またはシリコンゴムなどの材料から成ることによって、大量生産が容易であり、また使用者の身体、特に手などを損傷する恐れがないという点で、好ましい。吊下げ具2の軸部3は、後述するように、先端部3aの端面3bが丸みをおび、外周には螺旋状の突条7が形成される。この吊下げ具2は、石けん本体1に予めきりなどの穿孔工具を用いて細い案内孔を形成しておき、その案内孔に軸部3をねじ込んで挿入して、吊下げ具2を石けん本体1に取付けるようにしてもよく、あるいは石けん本体1の製造時に、この石けん本体1が固化するに先立って前記軸部3を埋設しておきその後固化させて、吊下げ具2を設けるようにしてもよい。

【0008】図2は、図1に示される実施例の吊下げ状態を示す斜視図である。前記吊下げ具2の吊下げ部4には、吊下げ孔5が形成され、この吊下げ孔5に、壁などから突出して設けられる鉤状の吊下げ棒11を挿入することによって、石けん本体1の使用後に石けん本体1を吊下げることができる。この吊下げ棒11の形状は、石けん本体1を吊下げることができる構成であれば、任意の形状を適宜選ぶことができる。また軸部3をたとえば、偏平な星形とすることによって、吊下げ具2を子供のおもちゃなどとして用いることもできる。

【0009】図3は、軸部3の先端部3a付近の拡大図である。前記軸部3は、略直円柱状の基部6と、基部6の外周面から半径方向外方に突出して一体的に形成される螺旋状の突条7とを有する。基部6の軸線8方向一端部には、大略的に半球面状の前記端面3bが形成され、

3

基部6の軸線8方向他端部3cには、前記吊下げ部4がその軸線9が直交するようにして一体的に形成される。前記突条7の軸直角断面の形状は、たとえば半円形である。

【0010】図4は、図1の切断面線IV-IVから見た拡大断面図である。吊下げ部4には、基部6の軸線8の延長線上で直交する中心線9を有する円環状の吊下げ孔5が形成される。この吊下げ部4の断面形状は、円形である。前記突条7は、基部6の軸線8方向全長の2/3程度の長さを有し、前記軸線8方向に一端部側の端面3bから他端部3c側にわたって形成される。したがって、石けん本体1に吊下げ具2が装着された状態で、軸部3の他端部3cには、前記基部6だけが突出しており、複雑な形状が外部に露出せず、外見上の美観が向上される。

【0011】図5は、本発明の他の実施例の吊下げ具2aの正面図である。本実施例は、前述の実施例に類似しており、対応する部分には同一の参照符号を付す。前述の実施例では吊下げ部4が円環状であったけれども、本実施例では吊下げ部4aが大略的に球状に形成されている。このような吊下げ部4aを用いることによって、たとえば一對の平行な吊下げ棒11a間に、図5に示されるように掛止めて、石けん本体1を吊下げることができる。

【0012】図6は、本発明のさらに他の実施例の正面図である。本実施例は、図1～図4に示される実施例に類似しており、対応する部分には同一の参照符号を付す。注目すべきは、前記吊下げ部4の前記吊下げ孔5に、ひも10が挿通されて環状に形成されているということである。このひも10は、たとえば綿、絹、麻、金属およびゴムなどの可撓性を有する材料から成る。環状のひも10の長さを任意に選ぶことによって、吊下げ孔5を用いて吊下げる場合に比べて、吊下げ位置が限定されず、その吊下げ位置の選択上の自由度が広がる。

【0013】図7は、本発明のさらにまた他の実施例の吊下げ具2bの正面図である。本実施例も、図1～図4に示される実施例に類似しており、対応する部分には同一の参照符号を付す。図1～図4の実施例では吊下げ部4が円環状であったけれども、本実施例では吊下げ部4bがフック状に形成されている。このような吊下げ部4bを用いることによって、両端が壁などの物体に固定され前述の吊下げ孔5に挿入することができない棒などに側方から吊下げ部4bを引掛けて、石けん本体1を吊下げることができる。

【0014】図8は本発明のまた他の実施例の吊下げ具22の正面図であり、図9は図8に示す軸部33と吊下げ部44との係合状態を示す拡大断面図である。本実施例において吊下げ具22は、軸部33から吊下げ部44を必要に応じて着脱自在な構造となっている。吊下げ部44は、図7に示す吊下げ部4bのようにフック状であ

4

ってもよい。軸部33と吊下げ部44とを着脱するための構成は、図9(1)に示すねじ込み方式や、図9

(2)に示す嵌込み方式などを用いることができる。図9(1)に示すねじ込み方式では、吊下げ部44aの螺旋状のねじ部分44a1と、該部分44a1に対応して軸部33aに形成されたねじ孔33a1とによって、これらの吊下げ部44aと軸部33aとが着脱自在に連結される。図9(2)に示す嵌込み方式では、吊下げ部44bの棒状挿入部に周方向にたとえば180°間隔をあけて設けられた略半球状の突起44b2と、該突起44b2に対応して軸部33bに形成される嵌合孔33b2とによって、軸部33bと吊下げ部44bとが着脱自在に連結される。

【0015】このような吊下げ具22を用いることによって、吊下げ部44だけを種々の形状のものと交換するだけで、石けん本体1をその吊下げ位置に適した状態で吊下げることができる。また石けん本体1の長期間の保存の際には、吊下げ部44を軸部33から外した状態で別途に準備された容器や袋に収納して保管することができ、保管のための収納スペースを削減することができる。

【0016】図10は、本発明のさらに他の実施例の吊下げ具2dの正面図である。本実施例においては、一直線状の軸部3dの軸線方向両端部に、一對の同一形状の吊下げ孔5を有する吊下げ部4がそれぞれ形成されている。各吊下げ孔5のいずれか一方に、前記吊下げ棒11などを挿入することによって、石けん本体1の上下を所望する方向にして吊下げることができる。また各吊下げ部4を、石けん箱などの箱状体の内部に、各吊下げ部4間の間隔にほぼ等しい間隔をあけて対向して形成される一對の支台の上面に載置することによって、石けん本体1を前記箱状体の底から浮いた状態で支持し、外部への液だれを防ぐことができる。吊下げ部4は、図7に示す吊下げ部4bのようにフック状であってもよく、また図8に示す吊下げ部44のように軸部33に着脱可能であってもよい。

【0017】図1～図9に示される各実施例において、軸部3、33、33a、33bの石けん本体1への埋設の長さは、石けん本体1の全長の約2/3に選ばれることが好ましく、これによって軸部3、33、33a、33bを石けん本体1に十分な強度で嵌め込み、石けん本体1の割れの発生を防ぐことができる。

【0018】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、既存の石けん本体に吊下げ具の軸部をねじ込んで固定し、この軸部には吊下げ部が連なっているため、この吊下げ部を石けん本体の使用後に固定位置に吊下げることによって、石けん本体に付着した水などの液体が滴下する。したがって乾燥が早まって石けん本体がふやけてしまうことが防がれ、洗浄作用と発泡作用とを十分に達成することが

5

できるとともに、長期間にわたって石けん本体を使用することができるようになる。

【0019】またこの吊下げ具は、石けん本体として市販されている既存の固形石けんに関連して広範囲に実施することができ、用途が広がる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の吊下げ具2の正面図である。

【図2】図1に示される実施例の吊下げ状態を示す斜視図である。

【図3】軸部3の先端部3a付近の拡大図である。

【図4】図1の切断面線I-V-I Vから見た拡大断面図である。

【図5】本発明の他の実施例の吊下げ具2aの正面図である。

【図6】本発明のさらに他の実施例の正面図である。

【図7】本発明のさらにまた他の実施例の吊下げ具2bの正面図である。

【図8】本発明のまた他の実施例の吊下げ具22の正面図である。

6

【図9】図8に示す軸部33と吊下げ部44との係合状態を示す拡大断面図である。

【図10】本発明のさらに他の実施例の吊下げ具2dの正面図である。

【符号の説明】

1 石けん本体

2, 2a, 2b, 22, 22a, 22b, 2d 吊下げ具

3, 33, 33a, 33b, 3d 軸部

3a 先端部

3b 端面

3c 他端部

4, 4a, 4b, 44, 44a, 44b 吊下げ部

5 吊下げ孔

6 基部

7 突条

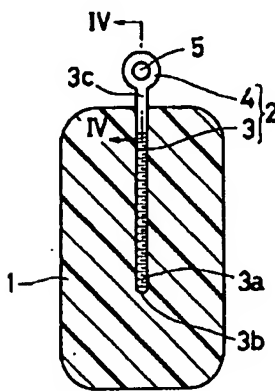
8, 9 軸線

10 ひも

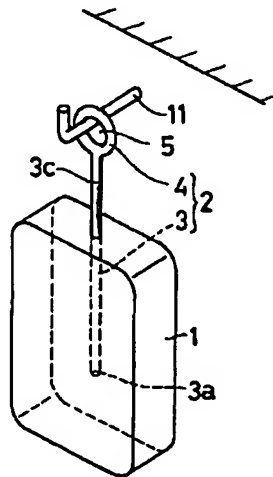
11, 11a 吊下げ棒

20

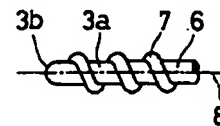
【図1】



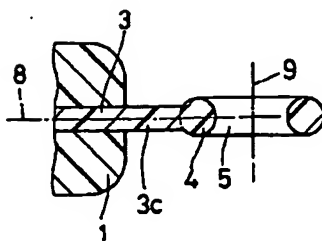
【図2】



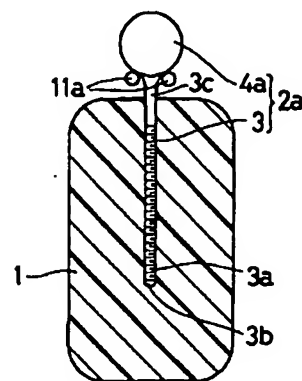
【図3】



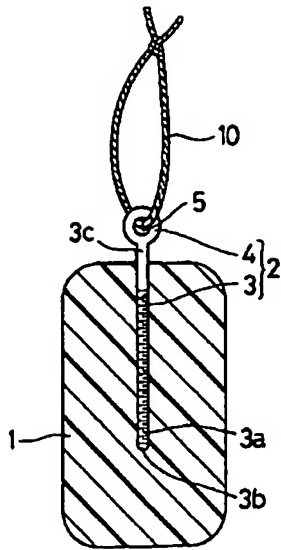
【図4】



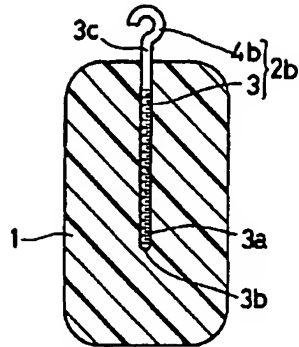
【図5】



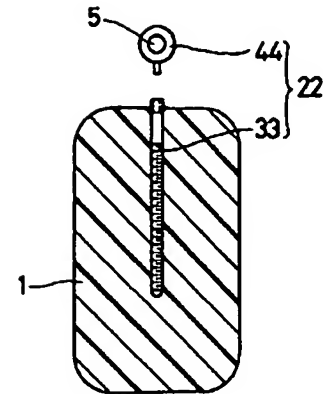
【図6】



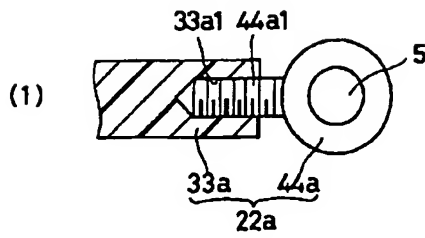
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

